

## 黒田庄まちづくり協議会より

### <第9回黒田庄軽トラ市開催> ★予告★

黒田庄まちづくり協議会地域交流部会の黒田庄軽トラ市実行委員会では、来る12月25日(水)の午前9時から午後1時まで、黒っこふれあい広場(旧黒田庄町役場跡地)に於いて、「第9回黒田庄軽トラ市」を歳末恒例の「喜多市」と同時開催します。

マーケット出店(軽トラ・テント内出店)では、お正月飾り、お正月用品、地元野菜、食品などを販売します。

芝生広場では、無料の風船で動物が作れるバルーンアート、わた菓子作りや、ポップコーンがあります。

当日は友人・ご家族・ご近所お誘いのうえ、多数ご来場ください。詳しくは後日各戸配布の「第9回黒田庄軽トラ市」のチラシをご覧ください。



昨年の軽トラ市の様子  
(黒田庄軽トラ市実行委員会)

### <福祉送迎車運転手募集>

黒田庄まちづくり協議会では、高齢者及び障がい者の通院等の場合に送迎する福祉送迎車を運行しております。

つきましては、福祉送迎車の有償ボランティアを募集いたします。ご希望の方は、下記によりお申し込みください。

… 募集要項 …

【応募者】 おおむね75歳未満の方で、普通免許を有し、運転が丁寧で親切な方。(二種免許を取得の方大歓迎)

【運行区域】 西脇市、多可郡及び丹波市

【運行日時】 日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び12月29日から翌年の1月3日までを除く、午前8時から午後4時30分までの間で利用申し込みのあるとき。

【送迎車】 リフト付き軽自動車(黒田庄まちづくり協議会保有)

【運転時間】 利用時間の範囲内

【賃金】 1回 2,500円

【募集期限】 令和元年12月27日(金)まで

【その他】 応募者には面接を行い、登録制とします。

【申込み先】 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館内  
黒田庄まちづくり協議会 Tel 28-2121



福祉送迎車運行(大山記念病院)

第162号11月



編集・発行  
黒田庄まちづくり協議会  
西脇市黒田庄町前坂2140番地  
Tel 28-2121  
令和元年11月15日発行



黒田庄地区の人口  
(R元.11.1現在)  
男 3,250  
女 3,453  
計 6,703  
世帯数 2,633  
人口前月比 (+4)

## ◆防災訓練 <田高集落>

田高集落で防災訓練を実施し、西脇市防災安全課、消防署に来ていただき色々な説明を聞きました。100人ほどの参加があり、初めに消防車に積み込んである各道具の説明を聞きました。チェーンソー・エンジンカッター、その他色々な工具類が揃っていました。



消防車の各道具の説明を受ける



救急車の中の説明を受ける

次に救急車の中に入り、器具類の説明を聞きました。酸素ボンベ等々の救命に必要な品物類、ストレッチャーの扱い方などの説明でした。移動式消火栓を使った訓練では、交代しながら筒先を持ち、水圧の力(4キロ位)を体験し、女性の方も筒先を持ち「これぐらいだったら持てます」と言っていました。

また、消火器は、物陰などに置くと使用したい時に分からなくなるため取り出しやすい場所に置くこと。使用する時は、ピンを引抜き、筒先を持ち、レバーを握ることの説明を受けました。次に2人1組になり、袋を広げる人と砂を入れる人の訓練をしました。袋に6割位に砂を入れて口を縛り、シートを張った上に土のう袋の底になる部分を水が流れてくる側に置いて、縛った口を川下にする事等、土のう袋の作り方も習いました。最後に自主防災会給食給水班による豚汁の炊出しと、アルファ米の配布をしました。

9月とは言っても残暑の中で汗をかいての訓練。その後での熱い豚汁を、またまた汗をかきながら頂きました。住民の皆さんには、暑い中、熱中症にもならず頑張ってくださいました。ご苦労様でした。



消火栓の取り扱い



土のうの作り方



豚汁の炊出し

## ◆春日神社 秋季大祭 <田高集落>

この時期には各地でいろいろな秋祭りが行われていますが、田高の春日神社では10月13日(宵宮)、14日(本宮)と2日間にわたって恒例の秋祭りが行われました。

今回は太鼓の練習から本番までの様子をお伝えしてみたいと思います。乗り子の子どもたちは祭り本番に向けて、9月のはじめから約1か月半にわたって太鼓保存会のみなさんの指導のもと、毎晩太鼓の練習をしています。教える方も教わる方も祭り当日、すばらしい宮入りが出来るようにと願って頑張っています。

天下泰平、五穀豊穰を願って担ぎ手のみなさんも一生懸命頑張っています。それに応えるように乗り子たちも大きな声と力強い太鼓で魅せてくれました。一生懸命がんばった乗り子たち。この1か月半の練習と宮入りは乗り子たちの一生の思い出になることと思います。

今度は、担ぎ手や太鼓を教える方で頑張ってください、末永くこの伝統ある祭りを引き継いでいってほしいと願っています。



練習風景



春日神社での練込



先月、12日から記録的な大雨をもたらした台風19号は福島県や神奈川県など広い範囲で堤防を決壊させ各地で甚大な被害が生じました。行方のわからない方もまだ多く、今月3日にやっと見つかった方もありました。亡くなられた方は計90人にもなりました。

東日本大震災以来避難の重要性が一段と高まりました。今回は前もって避難した方が地域によっては多かったようです。でも、洪水の中を高齢者が自宅から避難する様子や施設から避難所へ送られる様子が繰り返し報道されました。その様子を見ながら、想像を絶する豪雨の中、自宅で生活している車イスの方など体の不自由な災害時弱者と言われる方がどのような状況だったのか気になりました。家族が連れて避難できない、また避難を恐がる、避難を嫌がる方を説得して連れて逃げるのができたのだろうか。あのような大災害の中で、緊急時の見守り活動や災害時のケアプランがどのように伝えられ、弱者がそれに反応できたのか心配になりました。

異常気象は何処でも起こりえることを前提に、様々な障がいに対応できる避難訓練の大切さを強く思いました。(本工房も11月に避難訓練を実施する予定です。)

被災地の早急な復旧・復興を心より願います。

大山記念病院健康ふれあいフェスタで樽太鼓演奏とお菓子の販売をしました。また、ご家族の方がバザーをされました。多くの方に拍手並びに、ご協力をいただきありがとうございました。



### <黒田庄こども園ニュース>

## 楽しんだハロウィン!



旬菜館から、ジャンボカボチャをいただき、全園児で楽しい『ハロウィン』をしました。

5歳児はハロウィン前に、マイク先生に、いろいろと英語でハロウィンのことを教えてもらい、外国の文化に触れることもできました。(ちょっぴり外国のハロウィンがわかりました。)

ハロウィン当日は、年齢ごとに仮装し、「トリックオアトリート」と言って、お菓子をゲットしながら楽しんでいました。



<3・4・5歳児は、みんなで一緒に昼食：おばけカレー

先生たちの仮装も、見物でしたよ!!

## こんなにいっぱい採れたよ!!

6月10日のさつま芋苗植から、植えつけた苗が雨の少ない梅雨で根付くかと心配したり、猛暑を乗り切れるかとヤキモキしましたが、何とかさつま芋が収穫できました。

この間、東野さんに草刈をしてもらったり、4・5歳児で草引きをしたりし、さつま芋が大きくなるのを楽しみに待ちました。

11月1日に育ったさつま芋を掘りました。土の中から現れるさつま芋に、子どもたちは「いっぱい採れた!」「大きなお芋があったよ。」と歓声を上げていました。掘った芋は、7日の園児全員の『やき芋パーティー』に活用させていただきます。

お世話になった東野さんに感謝申し上げます。



(4)

## ★「クッキー作り体験」 <リンクスマイル>

と き : 令和元年12月14日(土) 10:30~12:30頃

と ころ : 黒っこプラザ

持 ち 物 : エプロン・マスク・タオル・生地作り用めん棒・まな板

対 象 : 小学校4年生までの親子

小学校5・6年生(当日の送迎等、保護者の責任でお願いします。)

参 加 費 : 1セット(約10枚程度) 200円 ※当日集めます。

申込締切 : 令和元年12月5日(木) ※申込みが20組になり次第、締切ります。

申 込 先 : 西脇市コミュニティセンター黒田庄地区会館(黒っこプラザ)TEL0795-28-2121

お問合せ : リンクスマイル 代表・岩本 TEL0795-28-3175



＝ひとりひとりが意識を持つことで地域は変わる＝

## ★「支え合い講演会」開催 <西脇市社会福祉協議会>

11月7日(木) 午後2時から、黒っこプラザにおいて、「2019支え合い講演会」が西脇市社会福祉協議会主催、西脇市共催で開催しました。会場は130名を越える参加者でいっぱいになり、「支え合い・助け合い」の大切さを確認しました。

講師は、ロッキード事件を特捜部検事として担当し、現在は弁護士として活躍される一方、(公財)さわやか福祉財団会長として、国や市町村に提言するなど、全国各地で、「絆のある地域づくり」を強く推進されている、堀田 力(ほった つとむ)さんを、東京からお招きしました。

講演では、「老後を病院や施設ではなく、住み慣れた家で暮らしたい、自分らしい最後を迎えたい」と思われている方が殆どにもかかわらず、内90%を越える人は「実現が難しい」と感じておられる事実を確認され、では、どうすれば良いかを、先生の経験豊富な、時には笑いを交えて、わかりやすくお話いただきました。



『人財産』『ありがとうは魔法の言葉』『人がつながるまち』等、心に残るワードをたくさんいただきました。



講演の後、参加した男性3人から、「男性にもっと参加してもらうには」「移送ボランティア時の事故等のリスクをどうすれば」「高校生ボランティアの推奨」の質問があり、参加された方の支え合い・助け合いへの関心の高さがうかがえました。

予定時間を越えてお話された堀田先生の講演は、住み慣れた地域で、安心して暮らせるためヒントがいっぱい詰まったものとなりました。

### 編集後記

千葉県は台風被害、電柱などが倒れて電気が通じない。現代社会では、電源が無ければ何もかも動かないし個人で電源を確保することは難しいことと思います。電気の有難さがよくわかるのではないかと思います。皆さんは何か対策をされていますか。

M. K